

# 第1章 平成22年度市町村地方公営企業決算の概要

## はじめに

地方公共団体が行う事務は、大きく分けて一般行政事務と地方公営企業の経営の2つがあります。

一般行政事務は、その経費が基本的に税金で賄われるのに対し、地方公営企業は独立採算制を採用し、原則としてその経営に伴う収入によって経費が賄われます。

そのため、地方公営企業は、その経済性を発揮して能率的、合理的な経営を行うとともに、最少の経費で最良のサービスを提供することが求められています。

このたび、平成22年度地方公営企業決算状況調査がまとまりましたので、その調査結果の概要についてご紹介します。

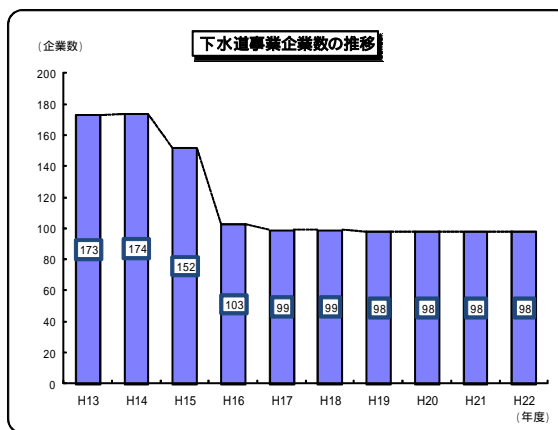
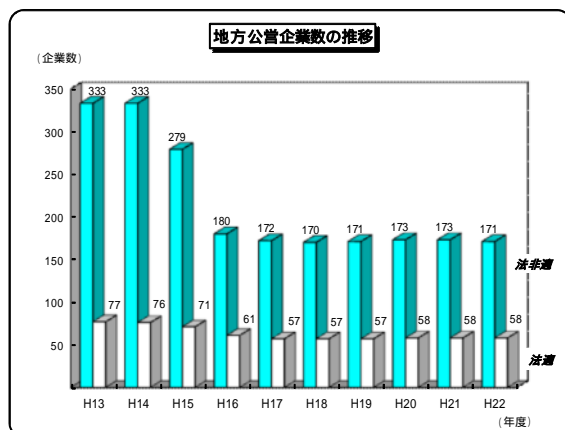
## 1 事業の種類と企業数

平成22年度末現在で、県内42市町村・6一部事務組合等が経営する地方公営企業は、地方公営企業法適用企業<sup>1</sup>(以下「法適用企業」という。)が7事業58企業、同法非適用企業(以下「法非適用企業」という。)が9事業171企業あり、法適用企業と法非適用企業の全体で11事業229企業であり、前年度と比較して2企業減少となっております。

### 地方公営企業企業数

(単位：各年度末現在の企業数)

区分/事業名	法適用企業											事業名	法非適用企業											合計										
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H13		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22			
上水道	52	52	47	41	38	38	38	38	38	38	38	簡易水道	73	72	56	28	26	24	24	24	24	23	125	124	103	69	64	62	62	62	62	61		
交通	1	1	1	1								交通											1	1	1	1								
電気												電気	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
病院	16	16	15	13	13	13	13	13	13	13	13	病院											16	16	15	13	13	13	13	13	13	13		
下水道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	下水道	172	173	151	102	98	98	97	97	97	97	173	174	152	103	99	99	98	98	98	98		
市場	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	市場	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
と畜場												と畜場	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
観光	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	観光	23	22	19	14	12	12	13	14	14	13	13	26	25	22	15	13	13	14	15	15		
宅地造成												宅地造成	3	4	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3	4	4		
駐車場												駐車場	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	10	10	10	10	10	10		
介護	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	介護	44	44	32	14	14	14	15	15	15	15	15	47	46	35	17	17	17	18	18	18		
その他									1	1	1	その他																			1	1		
計	77	76	71	61	57	57	57	58	58	58	計	333	333	279	180	172	170	171	173	173	171	171	410	409	350	241	229	227	228	231	231			



### 1 「法適用企業」と「法非適用企業」

地方公営企業法が適用されると、その経理は複式簿記を用いる企業会計方式に従うこととなり、減価償却等の考え方が導入され、損益計算書、貸借対照表等の財務諸表を作成します。

一方、地方公営企業法の適用がない地方公営企業は、特別会計を設けて経理を行いますが、その経理は普通会計と同様の官庁会計方式です。

## 2 決算規模

地方公営企業の決算規模とは、企業経営に伴う建設投資額、企業債元利償還金、人件費、材料費、修繕費などに要した支出額の合計で、普通会計の歳出総額に相当するものです。

平成22年度の地方公営企業の決算規模は、2,200億6,000万円の前年度比8.2%減となっています。

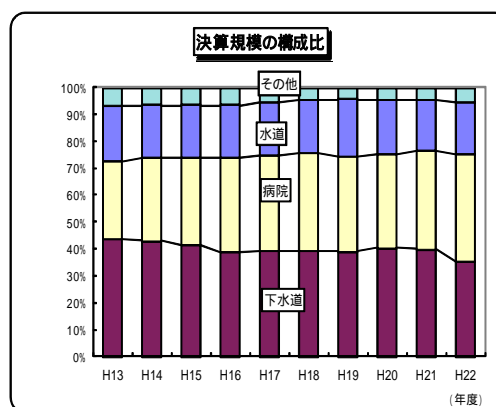
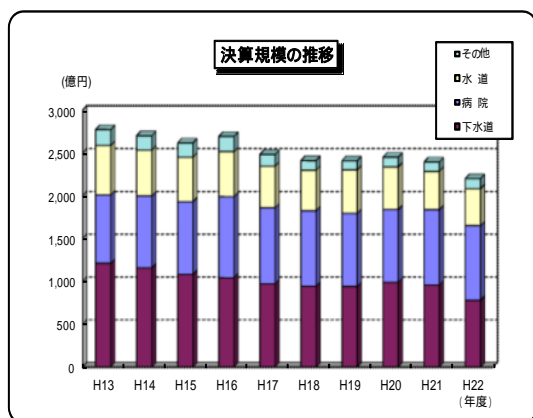
決算規模が大きい主な事業をみると、病院事業が872億2,400万円（地方公営企業全体の構成比39.6%）で最も大きく、前年度比1.1%減となっています。次いで、下水道事業が779億2,700万円（構成比35.4%、前年度比18.6%減）、水道事業が431億6,500万円（構成比19.6%、前年度比3.4%減）となっており、これら3事業で全体の94.6%を占めています。

なお、普通会計の歳出合計を100とした場合の地方公営企業の決算規模の割合は27.4（前年度:29.5）となっています。

### 決算規模

事業名・年度	[決算額]											[対前年度増減率]										(単位:百万円、%)	
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22			
地方公営企業合計	水道	57,827	53,571	51,948	52,696	48,645	47,489	50,862	49,820	44,705	<b>43,165</b>	0.2	7.4	3.0	1.4	7.7	2.4	7.1	2.0	10.3	<b>3.4</b>		
	交通	1,518	1,367	1,113	1,160								11.3	10.0	18.6	4.3	皆減						
	電気	166	128	208	170	189	164	197	153	168	<b>146</b>	39.2	22.8	62.0	18.2	11.4	13.5	20.5	22.5	9.7	<b>13.0</b>		
	病院	79,863	84,066	85,011	94,962	88,939	88,168	85,363	85,159	88,169	<b>87,224</b>	5.2	5.3	1.1	11.7	6.3	0.9	3.2	0.2	3.5	<b>1.1</b>		
	下水道	121,185	115,780	108,174	104,146	97,081	94,422	94,147	98,896	95,759	<b>77,927</b>	2.8	4.5	6.6	3.7	6.8	2.7	0.3	5.0	3.2	<b>18.6</b>		
	市場	1,965	1,577	1,519	1,492	1,831	1,228	1,139	1,151	1,127	<b>1,302</b>	2.7	19.7	3.7	1.8	22.7	32.9	7.3	1.1	2.2	<b>15.6</b>		
	と畜場	1,397	635	444	430	435	443	480	536	456	<b>452</b>	248.6	54.5	30.1	3.2	1.4	1.9	8.3	11.6	14.8	<b>1.0</b>		
	観光	4,131	3,790	3,667	4,977	3,729	2,751	2,529	2,640	2,467	<b>2,473</b>	2.9	8.2	3.2	35.7	25.1	26.2	8.1	4.4	6.5	<b>0.2</b>		
	宅地造成	1,516	1,270	976	574	622	518	302	219	328	<b>1,256</b>	11.0	16.2	23.2	41.2	8.4	16.7	41.7	27.5	49.5	<b>283.4</b>		
	計																						
駐車場	790	908	957	1,477	1,028	985	945	971	1,250	<b>935</b>	19.7	14.9	5.4	54.4	30.4	4.1	4.1	2.7	28.7	<b>25.1</b>			
介護	7,012	7,169	7,805	7,333	5,826	5,014	4,949	4,909	4,619	<b>4,593</b>	6.0	2.2	8.9	6.0	20.6	13.9	1.3	0.8	5.9	<b>0.6</b>			
その他																							
計A	277,368	270,261	261,821	269,417	248,324	241,183	240,913	245,218	239,641	<b>220,060</b>	2.4	2.6	3.1	2.9	7.8	2.9	0.1	1.8	2.3	<b>8.2</b>			
普通会計歳出総額B	810,074	798,720	798,672	781,727	755,234	740,698	743,407	750,456	811,096	<b>803,638</b>	2.3	1.4	0.0	2.1	3.4	1.9	0.4	0.9	8.1	<b>0.9</b>			

事業名・年度	[事業別構成比]											(単位:%)	
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	A/B	B	
地方公営企業合計	水道	20.8	19.8	19.8	19.6	19.6	19.7	21.1	20.3	18.7	<b>19.6</b>		
	交通	0.5	0.5	0.4	0.4	-	-	-	-	-	-		
	電気	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	<b>0.1</b>		
	病院	28.8	31.1	32.5	35.2	35.8	36.6	35.4	34.7	36.8	<b>39.6</b>		
	下水道	43.7	42.8	41.3	38.7	39.1	39.1	39.1	40.3	40.0	<b>35.4</b>		
	市場	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	<b>0.6</b>		
	と畜場	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	<b>0.2</b>		
	観光	1.5	1.4	1.4	1.8	1.5	1.1	1.0	1.1	1.0	<b>1.1</b>		
	宅地造成	0.5	0.5	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	<b>0.6</b>		
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	<b>100.0</b>		
普通会計に対する割合 A/B	34.2	33.8	32.8	34.5	32.9	32.6	32.4	32.7	29.5	<b>27.4</b>			



### 3 建設投資額

建設投資額とは、企業の経営活動に伴い発生する支出の中で、その支出の効果が1事業年度を超えて長期にわたるもののうち、施設の整備や拡充を図るための支出のことです。

平成22年度の地方公営企業の建設投資額は、462億2,100万円で前年度比11.8%減となり、2年ぶりに減少しています。

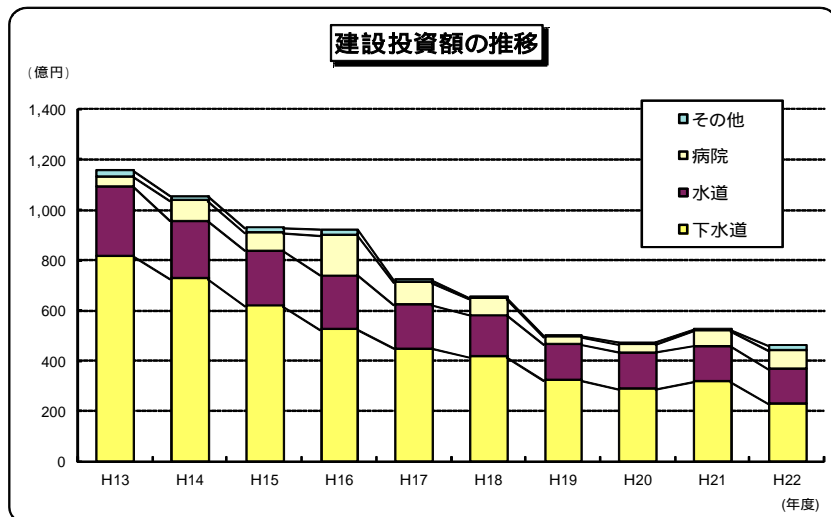
事業別にみると、下水道事業が230億2,400万円（地方公営企業全体の構成比49.8%）で最も大きく、前年度比27.1%減となっています。次いで、水道事業が138億1,300万円（構成比29.9%、前年度比1.0%減）、病院事業が73億8,200万円（構成比16.0%、前年度比18.1%増）となっています。

なお、普通会計の普通建設事業を100とした場合の地方公営企業の建設投資額の割合は37.0（前年度：37.0）となっています。

#### 建設投資額

事業名	年度											H22-H21 (増減額)
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22		
地方公営企業合計	水道	27,390	22,844	21,909	21,303	17,360	16,698	14,371	14,149	13,951	<b>13,813</b>	138
	交通	5	2									
	電気	66	2									
	病院	4,102	8,439	7,381	16,024	9,079	6,436	3,065	3,526	6,249	<b>7,382</b>	1,133
	下水道	81,717	72,524	61,687	52,581	44,781	41,432	32,050	28,941	31,588	<b>23,024</b>	8,564
	市場	16	44	38	18	42	126	81	15	139	<b>330</b>	191
	と畜場	1,069	241	47	17	13	38	29	72	19	<b>5</b>	14
	観光	304	267	410	971	405	94	156	156	204	<b>325</b>	121
	宅地造成	842	858	526	71	268	190	11	8	41	<b>1,190</b>	1,149
	駐車場	4	93	48	492	19	13	15	35	56	<b>71</b>	15
	介護	70	99	677	566	18	85	207	73	167	<b>66</b>	101
その他								242	2	<b>16</b>	13	
計C	115,586	105,414	92,722	92,044	71,984	65,112	49,983	47,216	52,416	<b>46,221</b>	6,195	
普通建設事業費D	203,942	195,059	178,514	154,849	130,540	125,954	121,335	120,866	141,541	<b>124,851</b>	16,690	
C/D	56.7	54.0	51.9	59.4	55.1	51.7	41.2	39.1	37.0	<b>37.0</b>		

事業名・年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
地方公営企業合計	水道	3.0	16.6	4.1	2.8	18.5	3.8	13.9	1.5	1.4	<b>1.0</b>
	交通	179.0	66.5	皆減							
	電気	皆増	96.4	皆減							
	病院	54.9	105.7	12.5	117.1	43.3	29.1	52.4	15.0	77.2	<b>18.1</b>
	下水道	7.2	11.2	14.9	14.8	14.8	7.5	22.6	9.7	9.1	<b>27.1</b>
	市場	75.1	185.4	15.0	52.4	133.0	203.1	36.1	81.7	838.5	<b>137.7</b>
	と畜場	1,475.3	77.5	80.7	62.5	25.2	187.9	23.7	151.0	73.5	<b>73.6</b>
	観光	8.0	12.1	53.3	136.8	58.3	76.9	66.6	0.3	30.8	<b>59.0</b>
	宅地造成	13.1	1.9	38.6	86.5	277.0	28.9	94.2	22.7	382.1	<b>2,808.7</b>
	駐車場	10.2	2,140.7	48.4	921.2	96.2	33.1	15.8	137.0	62.0	<b>26.9</b>
	介護	70.9	40.4	584.0	16.4	96.9	379.1	143.5	65.0	129.6	<b>60.6</b>
その他								皆増	99.0	<b>548.2</b>	
計C	9.0	8.8	12.0	0.7	21.8	9.5	23.2	5.5	11.0	<b>11.8</b>	
普通建設事業費D	10.3	4.4	8.5	13.3	15.7	3.5	3.7	0.4	17.1	<b>11.8</b>	



#### 4 企業債現在高

平成22年度末の企業債現在高は、7,280億5,800万円の前年度比2.0%減となり、5年連続で減少しています。

事業別にみると、下水道事業が5,202億9,200万円（地方公営企業全体の構成比71.5%）で最も大きく、前年度比2.5%減となっています。次いで水道事業が1,412億8,900万円（構成比19.4%、前年度比2.4%減）、病院事業が537億4,100万円（構成比7.4%、前年度比4.8%増）となっています。

普通会計の地方債現在高を100とした場合の地方公営企業の企業債現在高の割合は93.3（前年度：95.3）となっています。

#### 企業債現在高

【決算額】

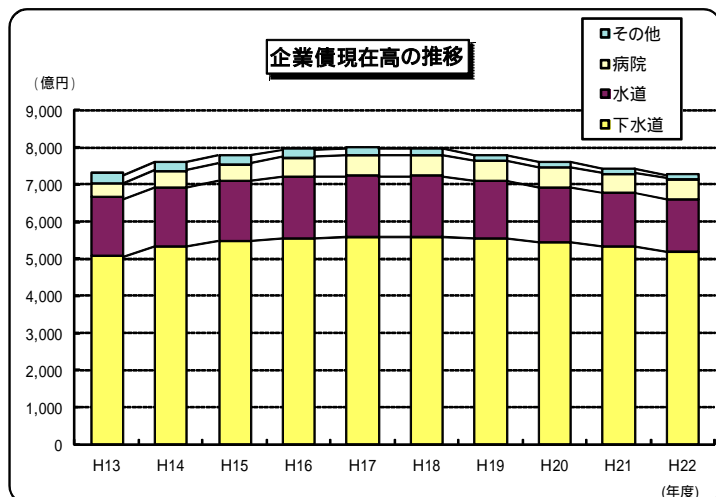
（単位：百万円、%）

事業名	年度	【決算額】										H22-H21 (増減額)
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
地方公営企業合計	水道	158,605	160,979	163,894	165,706	165,375	163,048	156,214	149,750	144,813	<b>141,289</b>	3,524
	交通	12										
	電気	739	677	613	548	476	402	326	248	168	<b>87</b>	81
	病院	39,195	42,937	45,050	51,519	55,004	54,991	52,874	50,972	51,281	<b>53,741</b>	2,460
	下水道	507,339	532,755	546,730	555,653	558,928	560,276	554,572	544,376	533,391	<b>520,292</b>	13,100
	市場	3,898	3,688	3,448	3,229	2,982	2,747	2,499	2,239	1,966	<b>1,676</b>	290
	と畜場	872	970	962	954	930	902	844	814	749	<b>691</b>	57
	観光	4,325	3,739	3,260	4,363	3,767	3,179	2,628	2,054	1,583	<b>1,187</b>	396
	宅地造成	1,873	2,024	1,838	1,402	1,096	811	549	378	177	<b>1,306</b>	1,128
	駐車場	6,389	6,204	5,925	5,895	5,559	5,219	4,866	4,484	3,886	<b>3,527</b>	360
	介護	7,909	7,265	7,346	6,636	5,822	5,550	5,396	4,940	4,543	<b>4,040</b>	503
	その他								271	242	<b>223</b>	19
計 E		731,155	761,239	779,065	795,904	799,938	797,125	780,768	760,528	742,799	<b>728,058</b>	14,741
普通会計地方債現在高 F		762,134	780,312	813,899	830,761	832,516	824,162	805,187	785,742	779,039	<b>780,208</b>	1,169
E/F		95.9	97.6	95.7	95.8	96.1	96.7	97.0	96.8	95.3	<b>93.3</b>	

【対前年度増減率】

（単位：%）

事業名・年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
地方公営企業合計	水道	2.8	1.5	1.8	1.1	0.2	1.4	4.2	4.1	3.3	<b>2.4</b>
	交通	78.0	皆減								
	電気	0.1	8.4	9.4	10.7	13.1	15.5	18.9	23.9	32.4	<b>48.2</b>
	病院	1.2	9.5	4.9	14.4	6.8	0.0	3.9	3.6	0.6	<b>4.8</b>
	下水道	7.2	5.0	2.6	1.6	0.6	0.2	1.0	1.8	2.0	<b>2.5</b>
	市場	4.8	5.4	6.5	6.4	7.7	7.9	9.0	10.4	12.2	<b>14.7</b>
	と畜場	537.5	11.2	0.8	0.9	2.5	3.0	6.4	3.5	8.1	<b>7.7</b>
	観光	15.6	13.6	12.8	33.8	13.6	15.6	17.3	21.8	23.0	<b>25.0</b>
	宅地造成	5.6	8.1	9.2	23.7	21.8	26.0	32.3	31.2	53.1	<b>636.4</b>
	駐車場	1.7	2.9	4.5	0.5	5.7	6.1	6.8	7.8	13.3	<b>9.3</b>
	介護	4.8	8.1	1.1	9.7	12.3	4.7	2.8	8.4	8.0	<b>11.1</b>
	その他								皆増	10.7	<b>7.9</b>
計 E	5.3	4.1	2.3	2.2	0.5	0.4	2.1	2.6	2.3	<b>2.0</b>	
普通会計地方債現在高 F	0.9	2.4	4.3	2.1	0.2	1.0	2.3	2.4	0.9	<b>0.2</b>	



## 5 法適用企業の収支

法適用企業の平成22年度の収支状況は、7事業の合計で、純損益<sup>2</sup>が48億9,900万円の黒字となり、前年度と比べて27億4,000万円の増となっています。黒字額全体が増加した主な理由は、病院事業が黒字化したことによります。

黒字の事業は、上水道31億3,700万円、病院12億5,100万円、下水道3億6,400万円、市場1億700万円、介護サービス7,700万円、その他1,600万円の6事業で、黒字額は前年度より27億2,300万円増加しています。

また、赤字の事業は、観光5,400万円のみで、赤字額は前年度より1,700万円減少しています。

なお、赤字の企業数は58企業中10企業であり、前年度と比べて5企業減少となっています。また、58企業中17企業が累積欠損金<sup>3</sup>を有しており、累積欠損金の総額は178億5,400万円と、前年度より19億1,300万円減少しています。

### 法適用企業 年度別経営状況

(単位:百万円、%)

区分・年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
純 損 益	上水道	2,184	2,527	2,376	2,598	2,771	2,590	2,602	2,324	2,655	3,137
	交通	12	54	1	52	-	-	-	-	-	-
	病院	995	123	1,654	272	549	1,909	2,331	1,637	885	1,251
	下水道	196	1	359	26	119	138	62	8	269	364
	市場	59	8	12	37	31	12	28	11	76	107
	観光	234	120	31	40	29	18	16	32	71	54
	介護	234	145	119	117	76	48	51	81	91	77
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0	24	16
合計	3,303	2,369	4,489	3,061	2,419	860	395	756	2,158	4,899	
累積欠損金	9,141	9,965	10,009	10,507	11,352	14,156	17,145	18,044	19,767	17,854	
総 収 支 比 率	上水道	107.7	109.0	108.6	109.4	110.1	109.4	109.3	108.4	109.9	111.8
	交通	99.2	96.1	99.9	105.7	-	-	-	-	-	-
	病院	101.3	99.8	102.1	100.3	99.3	97.7	97.2	98.0	98.9	101.6
	下水道	103.0	100.0	105.4	100.4	101.6	101.9	100.8	100.1	104.0	105.5
	市場	93.6	99.1	101.6	104.8	104.1	101.6	103.7	101.5	112.3	118.5
	観光	78.6	85.5	94.0	86.9	90.6	93.9	94.5	88.6	75.7	80.1
	介護	116.1	114.5	106.7	106.7	104.3	103.1	104.1	106.4	107.1	105.9
	その他	-	-	-	-	-	-	-	100.1	104.0	102.7
合計	102.8	102.1	103.8	102.6	102.0	100.7	100.3	100.6	101.8	104.2	

総収支比率 = 総収益 ÷ 総費用 × 100

#### 2 「純損益」

一会計期間内における総収益と、これに対応する総費用との差額のことであり、その年度の経営成績を表しています。

純損益の数値がプラスであれば「純利益（黒字）」、マイナスであれば「純損失（赤字）」となります。

#### 3 「累積欠損金」

営業活動で生じた純損失（赤字）のうち、繰越利益剰余金等でも補てんすることができなかった損失（赤字）額が累積したものです。

## 6 法非適用企業の収支

法非適用企業の平成22年度の収支状況は、9事業の合計で、実質収支<sup>4</sup>が22億5,900万円の黒字となり、前年度と比べて5,000万円の増となっています。

9事業全てにおいて黒字となっており、実質収支の黒字額を事業別にみると、下水道が12億5,900万円で最も大きく、次いで、簡易水道3億6,600万円、介護サービス2億8,700万円となっています。なお、赤字の企業数は171企業中2企業であり、前年度と比べて増減はありません。

### 法非適用企業 年度別経営状況

(単位:百万円、%)

区分・年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
実質収支	簡易水道	861	914	1,068	519	596	507	360	365	364	366
	下水道	2,663	2,613	2,684	1,874	2,314	1,947	1,842	1,738	1,288	1,259
	市場	46	52	49	55	23	25	15	10	25	9
	と畜場	20	13	11	13	34	38	42	25	18	10
	観光	118	114	86	76	62	90	127	178	168	169
	宅地造成	28	66	289	354	164	140	45	25	46	38
	駐車場	170	106	159	176	135	95	111	121	71	105
	電気	23	52	22	24	0	27	0	0	0	17
	介護	359	497	443	281	244	216	270	237	228	287
	合計	4,287	4,426	4,812	3,374	3,572	3,086	2,812	2,701	2,209	2,259
総収支比率	簡易水道	128.7	129.0	129.0	117.5	132.3	129.1	131.2	130.2	134.5	141.2
	下水道	105.1	107.9	109.8	108.9	109.6	132.3	145.6	146.8	154.8	159.5
	市場	110.2	111.3	113.2	110.0	124.2	117.4	115.0	111.8	111.4	112.6
	と畜場	107.0	107.4	112.0	114.4	115.1	121.5	119.3	110.6	115.1	107.8
	観光	104.6	106.1	104.9	105.5	111.3	115.9	102.8	120.6	122.5	119.1
	宅地造成	996.9	1,053.0	1,102.9	1,054.5	914.8	1,076.4	593.0	373.8	560.1	66.0
	駐車場	139.1	159.6	172.0	172.6	177.1	179.1	179.0	161.3	129.6	138.4
	電気	540.8	743.5	873.2	253.8	176.1	301.8	228.3	218.9	201.1	272.8
	介護	111.3	110.9	112.9	105.8	105.3	104.1	105.8	105.9	107.7	108.9
合計	111.9	113.9	115.9	112.1	114.2	130.7	139.1	140.1	147.2	150.7	

総収支比率 = 総収益 ÷ 総費用 × 100

#### 4 「実質収支」

法非適用企業における決算額のことであり、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源を除いたものです。

実質収支がプラスであれば黒字、マイナスであれば赤字となります。

## 7 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による資金不足比率の状況

平成21年度から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が完全施行され、公営企業を経営する地方公共団体は、毎年度、公営企業会計ごとに資金不足比率（資金不足額の事業規模（料金収入等）に対する比率）を算定し、監査委員の審査に付した上で議会に報告し公表しなければならないとされました。

資金不足比率が経営健全化基準（20%）以上となった場合には、経営健全化基準以上となった要因分析や、経営健全化基準未滿とするための方策等を内容とした経営健全化計画の策定が義務づけられ、経営健全化基準未滿とすることが求められます。

<概要> 平成22年度決算による資金不足比率

県内地方公共団体の公営企業会計（計180会計）において、資金不足額の発生した会計はありません。

資金不足額は、地方公営企業法の規定を適用している特別会計及び地方財政法第6条に規定する政令で定める公営企業のうち法非適用企業（駐車場事業・介護サービス事業等は対象外）を対象に特別会計単位で算定するため、地方公営企業決算状況調査の対象事業数とは異なります。

### 資金不足比率の算定方法

$$\text{資金不足比率（\%）} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業規模}}$$

・資金不足額（法適用企業）＝

（流動負債＋建設改良費等以外の財源に充てるために起こした地方債の現在高－流動資産）－解消可能資金不足額

・資金不足額（法非適用企業）＝

（繰上充用額＋支払繰延額・事業繰越額＋建設改良費等以外の財源に充てるために起こした地方債の現在高）－解消可能資金不足額

解消可能資金不足額とは、事業の性質上、事業開始後一定期間に構造的に資金不足額が生じる等の事情がある場合において、資金の不足額から控除する一定の額

宅地造成事業を行う公営企業については、土地の評価に係る流動資産の算定に関する特例があります

・事業の規模（法適用企業）＝営業収益の額－受託工事収益の額

・事業の規模（法非適用企業）＝営業収益に相当する収入の額－受託工事収益に相当する収入の額

指定管理者制度（利用料金制）を導入している公営企業については、営業収益の額に関する特例があります

宅地造成事業のみを行う公営企業の事業の規模については「事業経営のための財源規模」（調達した資金規模）を示す資本費及び負債の合計額となります